

令和5（2023）年度（ブルーフ I）教育指導計画

（1）科目の配当・分担表

（必修 ◎，選択必修 ○，選択 △）（講師：＊）

学 年	科 目 名	必修・選択	単位数	クラス数	時数	担当者名
I	ブルーフ I	◎	1	4	4	打海 孝輔 南 勝仁

（2）指導計画表

科目名：ブルーフ I	学年：第 I 学年	単位数：1	担当者名：打海 孝輔 南 勝仁
<p>1. 指導目標 ブルーフ I は、探究の意義や過程、研究倫理の理解、実験観察などの基本的な技能や、結果を発表する技能の習得を身に着けることが求められている科目である。私たちは、様々な事象に対して興味や関心をもつとともに、教科・科目の枠に捉われない多角的、複合的な視点で事象を捉え、数学的な見方・考え方や理科の見方・考え方を豊かな発想で活用したり、組み合わせたりしながら探究することを学ぶ。</p> <p>本授業は、大きく 3 つの分野で構成しており、各分野での目標は以下の通りである。</p> <p>< 数学分野 > 統計に関する基礎知識を養い、それを活用できるようになる。また現実世界の現象を数学的にモデリングすることによって、探究における数学的な視点を養う。</p> <p>< 基礎知識・技能習得分野 > 教科書にも記されている探究活動に必要な基本的な知識や技能を習得する。 様々なテーマを基に、活用しながら、知識・技能を使えるレベルまで伸ばす。</p> <p>< 探究の分野 > 探究の意義を理解する。また、課題の設定の仕方、実際の探究の進め方を概観し、探究により得た成果を報告書にまとめる方法や発表の仕方について理解する。さらに、探究を意義あるものとするための姿勢について考える。また、理科に関する探究的な活動を通して、探究の一連の流れを体験し、理解する。加えて、これまでに取り組んできた探究を通じて、自分たちがどう学んだかを振り返り、今後探究に向かう姿勢や動機を確認する。</p> <p>使用教科書：啓林館 理数探究基礎 未来に向かって</p>	<p>2. 評価観点 ①物事を数学的に分析することができるか。また、その数学的な理論を理解できているか。 ②プログラミングや数学的モデリングなどを理解し、探求的に取り組み、実践することができるか。 ③探究のプロセスで必要となる知識や技能を理解し、活用することができるか。また、協働する力や他者視点での表現力を身につけることができるか。 ④科学分野における探究的な活動を通して、学んだことを実践し、成果を生み出すことができるか。</p> <p>3. 指導方法 1. で示した 3 領域を効果的に織り交ぜて実施する。講義と生徒実験などの実践を主体とした授業を行う。1, 2 学期のみ定期考査を行う。</p> <p>4. 評価方法 【知識・技能】 定期考査，課題，探究レポートなど 【思考・判断・表現】 定期考査，課題，探究レポート，発表など 【主体的に学習に取り組む態度】 課題，探究レポート，取り組み，振り返りなど</p> <p>5. 年間計画 < 1 学期 > 数学分野：分散・標準偏差、相関係数、検定、理科と数学（力学など） 探究の分野：プチ課題探究（化学編） 考査 … 数学分野 < 2 学期 > 基礎知識・技能習得分野：テキストの「課題の設定」と「課題の探究」など 探究の分野：プチ課題探究（生物編） 考査 … 数学分野と基礎知識・技能習得分野 < 3 学期 > 基礎知識・技能習得分野：テキストの「発表と報告書の作成」など 探究の分野：プチ課題探究（物理・地学編） 考査 … なし</p>		